

京都府災害ボランティアセンターが 設立されました！



災害ボランティアセンター
設立総会



昨年台風23号による
被災時のボランティア活動

去る、5月29日(日)、京都ガーデンパレス(京都市上京区)において、京都府災害ボランティアセンター設立総会及び記念講演会が開催されました。

この京都府災害ボランティアセンター(以下、「センター」)は、昨年10月に京都市中・北部を襲った台風23号による災害の教訓を活かして、平常時から行政、社協、ボランティア・NPOのネットワークを築き、発災時には、被災地における災害復旧のボランティア活動を円滑に、また効果的に行うことを目指して設立されたものです。

ゆめっと京都は、23号災害時においてはボランティアバスのリーダー派遣や、独自にボランティアバスの運行やボランティア募集を行うなど被災地支援活動を行った後、府社協や他の団体とともにこのセンター設立構想にかかわってきました。

設立総会では、センターに加入申請のあった21団体の委員により、センターの規約や事業計画、役員などが審議・決定されました。ゆめっと京都は運営委員として参画するとともに、副代表として高桑総務委員が就任することになりました。

その後行われた記念講演会では、京都青少年ゆめネットワーク神崎清一代表(センターの設立発起団体として)から、センターの設立までの経過や設立総会で決定された役員の紹介を行い、続いて、山田啓二京都府知事より、「行政、社協、ボランティア・NPOが平常時からネットワークを組み、京都府民の安心・安全のために、協働という言葉が単なる飾りにならない組織に高めていきたい」と、開会あいさつがありました。

続いて、「災害ボランティアをめぐる現状と京都府災害ボランティアセンターに期待すること」をテーマに、内閣府防災統括官付企画官丸谷浩明氏より、災害ボランティアや企業防災、商店街などの地域住民の取り組みに至るまで、全国の様々な事例をとりあげながら、国の動きもあわせて、災害ボランティアをめぐる現状を具体的にお話いただきました。記念講演会には京都府内のみならず、他府県からも約180名の方々が参加され、会場には、センターに寄せる熱い期待が満ち溢れていました。

今後の取り組みとして、京都府総合防災訓練への参加(9月4日(日))、災害ボランティア研修会「災害図上演習」(10月1日(土))などの活動が予定されているほか、ホームページも独自に開設し、平常時の情報発信、収集はもとより、発災時には被災地情報やボランティア情報のリアルタイムな発信などを行うこととなります。

ゆめっと京都のもつ「ゆるやかなネットワーク」を生かして、この京都府災害ボランティアセンターの運営に協力していきたいと思えます。